【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2003-518804(P2003-518804A)
【公表日】平成15年6月10日(2003.6.10)
【出願番号】特願2001-547751(P2001-547751)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　9/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　9/00　３１１Ｑ
Ｈ０４Ｑ　9/00　３０１Ｅ
Ｈ０４Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月7日(2007.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　汎用遠隔制御装置をプログラミングする方法であって、
ディスプレイ又は音声合成器を有する第１の遠隔制御可能な電気製品と、上記第１の電気製品を制御するよう予めプログラミングされており、複数のタイプ、ブランド、及び、モデルの追加の電気製品を制御するようユーザによってプログラミングされるハンドヘルド式の汎用遠隔制御装置とを準備する段階、
上記遠隔制御装置から受信されるキー押下信号に応答して上記ユーザに与えられ及び追加の電気製品を制御するよう上記遠隔制御装置をプログラミングする際に上記ユーザを案内するメニュを含む遠隔制御プログラミングモードを有する上記第１の電気製品を準備する段階、
電気製品のタイプを選択するため上記第１の電気製品により上記ユーザに第１のメニュを表示するか又は生成する段階、
上記遠隔制御装置から受信される第１のキー押下信号に応答して上記第１の電気製品により電気製品のタイプを選択し、及び上記選択された電気製品のタイプのブランド名のリストである第２のメニュを表示するか又は音声で生成する段階、
上記遠隔制御装置から受信される第２のキー押下信号に応答して上記第１の電気製品により上記第２のメニュからブランド名を選択し、及び上記ユーザに上記遠隔制御装置のキーを作動するよう指示する第３のメニュを表示するか又は音声で生成する段階、
上記キーが押下される度に上記選択されたタイプの選択されたブランドの異なるモデルに対応する制御信号を上記遠隔制御装置から送信する段階、並びに
上記プログラミングの完了を示す上記遠隔制御装置からのキー押下信号を上記第１の電気製品により受信する段階、を含む方法。
【請求項２】　上記ディスプレイ又は音声合成器を有する第１の遠隔制御可能な電気製品は、上記プログラミング情報を与えるようプログラミングされるマイクロプロセッサを含む請求項１記載の方法。
【請求項３】　上記第１の遠隔制御可能な電気製品及び上記追加の電気製品は、テレビジョン、ビデオカセットレコーダ、ケーブルボックス、ハイファイサウンドシステム、衛星放送デコーダ、デジタルビデオディスクプレーヤ、及び、デジタル衛星放送受信器か

らなるグループから選択される請求項１記載の方法。

【請求項４】　上記汎用遠隔制御装置が追加の電気製品を制御するよう無事にプログラミングされると、上記第１の電気製品及び／又は上記遠隔制御装置により、無事にプログラミングできたことを確認する表示又は音声情報が生成される、請求項１記載の方法。

【請求項５】　汎用遠隔制御装置をプログラミングするシステムであって、

上記汎用遠隔制御装置と、

ディスプレイ又は音声合成器と、一連の選択メニュを含む遠隔制御プログラミングモードを有する第１の遠隔制御可能な電気製品とを含み、

上記一連の選択メニュは、上記送信器装置から受信されるキー押下信号に応答して表示されるか又は音声生成され、

上記遠隔制御装置は、上記第１の電気製品を制御するよう予めプログラミングされており、且つ、上記選択メニュに応答してキーを押すことにより１つ以上の追加の電気製品を制御するようユーザによってプログラミングされることが可能であり、上記第１の電気製品は電気製品のタイプのリストである第１のメニュを表示するか又は音声で生成し、上記遠隔制御装置からの第１のキー押下信号に応答してタイプを選択し、上記選択されたタイプのブランド名のリストである第２のメニュを表示するか又は音声で生成し、上記遠隔制御装置からの第２のキー押下信号に応答してブランド名を選択し、ユーザに上記遠隔制御装置のキーを作動するよう指示する第３のメニュを表示するか又は音声で生成し、及び上記遠隔制御装置は上記キーが押下される度に上記選択されたタイプの選択されたブランドの異なるモデルに対応する制御信号を送信する、システム。

【請求項６】　上記汎用遠隔制御装置は、押下され上記第１及び第２のキー押下信号を生成することが可能なキーを有する、請求項５記載のシステム。

【請求項７】　上記汎用遠隔制御装置は、音声によって作動される、請求項５記載のシステム。

【請求項８】　上記第１の電気製品は、上記１つ以上の追加の電気製品を制御することができるよう上記遠隔制御装置をプログラミングするステップバイステップ方式の対話式手順を通じユーザを案内するプロンプトを生成する、請求項５記載のシステム。

【請求項９】　上記第１の電気製品及び上記追加の電気製品は、テレビジョン、ビデオカセットレコーダ、ケーブルボックス、ハイファイサウンドシステム、衛星放送デコーダ、デジタルビデオディスクプレーヤ、及び、ＤＢＳ受信器からなるグループから選択される、請求項５記載のシステム。